

平成30年度 西都市茶臼原小学校 自己評価書

学校の教育目標	進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成
本年度の重点目標	確かな学力の定着 心の教育の充実 たくましい心身の育成

児童の成果目標のとらえ方	教師の数値目標のとらえ方	総合評価基準(4段階)
4 よくできている	4 頻繁に行っている(9割以上)	4 期待以上
3 だいたいできている	3 かなり行っている(6割以上~9割未満)	3 ほぼ期待通り
2 あまりできていない	2 時々行っている(2割以上~6割未満)	2 やや期待を下回る
1 できていない	1 ほとんど行っていない(2割未満)	1 改善を要する
※自己評価での4・3の回答割合		

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標(成果指標)	教師の取組に関する数値目標			児童達成率	教師達成率	総合評価		
確かな学力の定着	①「話す」、「聴き合う」をがんばったという割合を80%以上にする。	①「話す」「聴き合う」態度を意識させながら学習を進めているという割合を90%以上にする。	○学習指導週間の充実 ○日常の学習における指導の充実	○学習指導週間の集計結果をもとに、各学級で共通実践を行うことができた。 ●人の話を最後まで聴く態度がまだ十分ではないと捉えている。	H29 90.4%	H29 87.9%	2	○新聞を読まない児童が多いという実態を踏まえ、家庭での実情を把握したり、授業に積極的に活用したりすることが必要である。	
	②進んで読書をしたという割合80%以上にする。	②図書室を活用し読書を勧めているという割合を90%以上にする。	○読書量データを活用した読書活動の推進 ○図書室の整備	○図書室をよく利用しているし、読書量も増えている。 ●児童にあった本の配置を図書支援員の先生と連携して進めていく。 ●新聞を読まない児童も多いようであるので、「子ども新聞」を図書室に置くようにしたい。	H29 78.8%	H29 62.5%			
	③立腰の姿勢で学習ができたという割合を80%以上にする。	③立腰の姿勢について指導を十分に行ったという割合を90%にする。	○声かけ指導の徹底	○昨年度よりは、意識が付いてきたようである。日常的に声かけ指導を徹底していきたい。	H29 75.0%	H29 62.5%			
基礎的・基本的学習内容の定着	④計算や漢字、読み声などを続けて学習に取り組んでいるという割合を80%にする。	④学級の実態や個に応じた指導の工夫や手立てを行っているという割合を90%以上にする。	○実態把握の充実 ○教材研究の充実  ○学習指導法の工夫改善  ○学習評価の充実 ○主題研究の充実  ○かがやきタイムの充実	○算数の読み声や、校長先生からの「詩」の効果が表れている。 ●教材研究の充実や学習指導法の工夫ができるよう、主題研究の時間を有効活用していく。	H29 84.6%	H29 100%	3	○家庭での学習の状況を保護者や友愛園でしっかりと見届けることで、児童の学力向上につなげていきたい。 ○立腰指導の史はる工夫を図っていく。号令に対してしっかりと姿勢を正し、必要に応じて指導をしていくという場を設定することで、形式的なものではなく質を高めることができる	
	⑤授業内容が分かると答え	⑥学習内容の定着を図る工	○家庭学習の見届け	○見届けてくださっている保護者に	H29	H29			

	る割合を80%にする。	夫をしているという割合を90%以上にする。		は継続して見届けをお願いしたい。 ●家庭学習の見届けについては、全校懇談や各学級の懇談等でも保護者に呼びかけ、徹底させていく。さらに、教材研究等の時間を確保し、分かりやすい授業を目指す。	H29 92.3%	H29 100%	3	
西都市一貫教育の推進	⑥さいと学や英語活動(英会話)に楽しく取り組むことができたという割合を80%以上にする。	⑥児童がさいと学や英語活動(英会話)に楽しんで取り組めるような工夫や改善を行っているという割合を80%以上にする。	○さいと学・英語活動(英会話)の充実	○外国語科については、教科化に向けて指導内容も明確になり、児童も楽しく活動できていた。 ●さいと学や課題解決的な学習については、年間指導計画を見直し、具体的な内容を考えていく必要がある。	94.3%	100%		3
学び合い	⑦学び合いをがんばれたという割合を80%以上にする。	⑦学び合いを位置付けた指導法の工夫や改善を行っているという割合を80%以上にする。	○学び合いを位置付けた指導法の工夫改善	○学び合いの仕方は身につけてきているが、深めるまでには至っていない。 ●学び合えるまでの基礎・基本を身に付けていくことが本校の課題である。	H29 96.2%	H29 75.0%	2	
					88.7%	60.0%		

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策
	児童に関する数値目標(成果指標)	教師の取組に関する数値目標			児童達成率	教師達成率	総合評価		
茶臼原小よい子のきまりの指導徹底	①自分から進んであいさつをしているという割合を、地域の人90%以上、家の人90%以上、先生90%以上、友達90%以上にする。	①進んであいさつすることを意識して指導しているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実 ○あいさつ運動の実施 ○校外学習等での実践	○日常的な指導を充実させることができたことが成果につながった。 ●心を込めたあいさつという部分では、その時の気分に左右されたり個人差があったりするなど課題が見られる。	H29 地域90.4% 家庭96.2% 先生98.1% 友達94.2%	H29 100%	3	3	○朝のあいさつ運動や登校の見守りを学校と地域が積極的に行うことで子どもたちが安心して学校に向かうことができる。交通安全については、地区の交通安全支部長を中心に活動を活性化させると共に、公民館長とも連携をとって見守りの体制強化していきたい。
	②元気よく「はいっ」の返事ができているという割合を90%以上にする。	②常に元気のよい返事をすることを指導しているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実	○教師側としては、日常指導を意識することで継続的な指導につながった。 ●児童の達成率が昨年度より若干下がっている。できできないの個人差が見られるため、粘り強く指導を繰り返す必要がある。	地域90.6% 家庭90.6% 先生94.3% 友達96.2%	100%			

心の教育の充実

					90.6%	100%		
	③自分の持ち物やトイレのスリッパをきちんと整頓しているという割合を85%以上にする。	③身の回りの整理整頓を行うとともに、児童への指導も行っているという割合を80%以上にする。	○靴箱・トイレのスリッパの整理整頓の徹底	○「はきものを揃える」「整理整頓」を校長先生を中心に全職員の意識が向上し、日常的な指導の徹底につながった。	H29 94.2%	H29 62.5%	3	
					92.5%	90.9%		
思いやりのある心、感謝の心の育成	④友達に「くん」「さん」を付けて呼んでいるという割合を90%以上にする。	④言語環境を意識した指導を行っているという割合を80%以上にする。	○名前の呼び方の指導の徹底 ○教師の言語環境の充実	○低学年では、指導しているので、意識して「くん」「さん」を使っている。 ●言語環境を意識した指導を教師側で共通した実践を行ったり、課題を共有したりすることができなかった。 ●自分のことを「～ちゃん」という児童が多いので「ほく」「わたし」と言える児童の育成も課題である。	H29 96.2%	H29 87.5%	3	3
	⑤「ありがとう」「ごめんなさい」が言える割合を90%以上にする。				○場の指導の徹底 ○教師の言語環境の充実	●子どもたちは「言えている」と感じているが、教師側からするとすぐに言うことができなかつたり、心を込めずに言ったりする姿が課題であると感じていると思われる。		
規範意識の向上	⑥ルールやマナーを守っているという割合を90%以上にする。	⑤善悪の判断に関する具体的な指導を日常的に行っているという割合を90%以上にする。	○日常指導の充実 ○登校班会での指導 ○教育相談の充実	●自分勝手なルールで行動する児童が増えてきているので、個別の指導が必要である。 ●善悪の判断が身に付いていない状態で就学する児童も増えてきているので指導の仕方を工夫していく必要がある。	H29 94.2%	H29 100%	3	○規範意識を高めるには、子ども自身に考えさせる機会を与えることが大切である。具体的場面での丁寧な対応と指導が不可欠である。
	⑦がまんする心をもつ努力をしているという割合を90%以上にする。				○頑張ろうという意識は育ってきている。 ●一部の児童に関しては、個別の指導を継続する必要がある。	H29 86.5%		
					94.3%			○友愛園での生活指導には、日頃から気を配っている。関係機関とも連携をしながら子どもに寄り添った指導を目指している。学校では、全ての教育活動を通して人権意識を高める指導を繰り返す

評価項目	具体的な数値目標		方策・手立て	○成果・●改善点	自己評価			学校関係者	学校関係者評価委員会における具体的な意見や改善策	
	児童に関する数値目標 (成果指標)	教師の取組に関する数値目標			児童達成率	教師達成率	総合評価			
健康安全指導の充実	①毎日、早寝・早起きがきちんとできたという割合を80%以上にする。	①日常的に規則正しい生活について具体的な指導を行っているという割合を90%以上にする。	○すくすくチェックの実施 ○保健便りの発行	○すくすくチェックの実施によって、意識して生活を送ることができている。 ○チェックカードの項目を明確にすることによって、より実態を把握することができるようになっている。 ●生活改善が見られない児童については、継続的な指導が必要である。引き続き声かけ指導を行っていく。  ●子どもたちは「立腰」という言葉を意識して姿勢を正そうとしているが、教師の理想としていところまでではない。	H29 90.4%	H29 88.9%	3	4	○茶香炉を使っでの室内の殺菌効果を期待している。学級に配分してあるものを有効活用して欲しい。	
	②毎日、きちんと朝ご飯を食べているという割合を90%以上にする。				H29 100%					
	③毎日、排便がきちんとできたという割合を50%以上にする。	H29 82.7%			72.7%					
	④正しい姿勢で生活しているという割合を80%以上にする。	H29 76.9%			H29 100%					
	⑤毎日、ハンカチを持っているという割合を90%以上にする。	③ハンカチを身に付けた り、手洗い・うがいをした りする習慣化を図る指導を 行っているという割合を 90%以上にする。			84.9%	86.8%				90.9%
	⑥手洗い・うがいをしっかりしているという割合を90%以上にする。	④歯磨きの習慣化を図る指導を行っているという割合を90%以上にする。			○身だしなみチェックで指導することで意識を高めることができている。 ●ハンカチは持っているが身に付けていない。	H29 86.5%				H29 100.0%
	⑦歯磨きをきちんとしているという割合を90%以上にする。				○学校保健委員会での保護者への意識の啓発 ○歯磨きカードの活用	90.6%				
			●指導の場が少なくなると意識が低くなる。	H29 88.5%	H29 88.9%					

たくましい心身の育成

			○集会等での意識の啓発		90.6%	100%	3	○子どもたちの日常遊び、体育の授業、朝の体育的活動、時期で行うなわとび運動や持久走等の年間を通じた計画的、継続的な活動によって、体力向上が図られ、今年度は、「体力づくり奨励賞（県教育委員会）」を受賞することもできた。
食に関する指導の充実	⑧好き嫌いをなく食べているという割合を90%以上にする。	⑤好き嫌いをなく食べることの大切さについて指導を行っているという割合を90%以上にする。	○給食時間の指導の徹底 ○学級活動等での指導の実施	●目標は達成しているが、健診結果の改善につなげる。 ●歯磨きには、まだ課題があるので継続的な指導を要する。	H29 90.4%	H29 100.0%	4	○風休みに元気よく遊ぶ児童が多い。遊びの中で社会性や人間性を高めていくことができる。先生たちも子どもと一緒に遊んでくれていることで、子どもたちが安心して遊ぶことができている。更に、そのことで教師と子どもとの信頼関係も深めることができ、とてもよい雰囲気である。よりよい学級づくりにも生かすことができている。
基礎体力の向上	⑨昼休み時間などに外で元気よく遊んだり、ちょこっと運動をしたりしている割合を90%以上にする。	⑥外遊びや「ちょこっと運動」をするよう働きかけたという割合を90%以上にする。	○日常的に外遊びを行いよく頑張っている。 ●寒い時期や行事をきっかけに外に出なくなることもあった。	H29 97.8%	H29 88.9%	4		
				96.2%	90.9%			
		⑦体育科学習に体づくりの運動を計画的に取り入れているという割合を90%以上にする。	○体育学習の充実 ○ちょこっと運動の実践 ○各項目を高めるための運動の紹介	○課題であった運動について系統的に指導を行うことができた。課題について示すことができたことがよかった。		H29 77.8%	90.9%	
※楽しく学校生活を過ごすことができる児童	※学校は楽しいという割合を90%にする。				H29 96.2%			○今年度、学校長が行った「月ごとの詩の暗唱」や「校門前でのことばの群読」の実践は、継続することの大切さを学んだり、よりよく生きようとする心の育成につながったりする。素晴らしい取組であり、引き続きお願いしたい。  ○本校卒業生が、複数の中学校への進学するにあたって、心身共にたくましさが必要である。小学校の発達段階に合わせた交流活動、体験活動を積極的に取り入れて欲しい。
					98.1%			